

卒業おめでとう、ようこそ同窓会へ

震天動地

「震天動地」は、1918年当時の山口沢之助校長の揮毫により、誕生した応援団旗の言葉で、「海邦養秀」と共に先輩から後輩に受け継がれている首里高校の精神文化の一つです。
(一社)養秀同窓会・沖縄県立一中・首里高等学校

No.25

2024.3.1

首里高校は
創立144年
になります。

SHINTENDOUCHI
卒業生号

未来を担う君たちへ
海邦養秀の精神を
繋ぐ!

染織デザイン科 79期卒業制作壁画
「結 Mare(ゆいマーレ)」

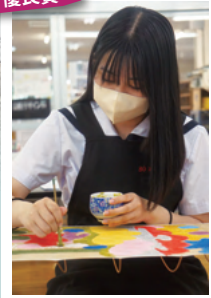
2024年度版 高校生が撮る
「私の好きな沖縄カレンダー」

優良賞



「自慢の砂浜」80期中村 奏音さん

優良賞



「伝統を受け継ぐ」
80期 翁長 舞歌さん



タイトルは、沖縄の優しい言葉である「ゆいまーる」とイタリア語で海を意味する「mare (マーレ)」を合わせた造語です。助け合いの絶えない海であれと願いを込めています。この壁画は私たち79期生全員の豊かな個性と、コロナ禍という大きな困難を乗り越え、新たな世界へと旅立つ希望を表しています。私たちはコロナ禍の世界で出会いました。分散登校の実施や度重なる行事の中止、日常生活にすら困難を及ぼすような暗く前の見えない世界を私たちは手を取り合い、共に歩んできました。壁画に描かれている色鮮やかな海の生き物たちは、個性豊かな私たちを。変化の激しい海の中で光の導く方へ向かって進む様子は、それぞれが荒波を乗り越えていく様子を。堂々としたクジラは私たち自身が時代の波を作る主役であることを表現しています。首里高校で出会えた仲間たちとの思い出は、何物にも代えがたい生涯の宝物です。その思い出を、また新たな世界への限りない希望を胸に持ち、私たちは自らの人生を歩んでいきます。

79期生全員の未来が輝かしいものになることを期待しています。

79期 染織デザイン科3学年制作

先輩から後輩へ

失敗しても大丈夫 何度でもやり直せる



【50期】善國 乗栄（よしくに じょうえい）
【臨濟宗妙心寺派 慈眼院・首里観音堂 住職】

～プロフィール～

1977年 那覇市生まれ
臨濟宗妙心寺派専門道場（平林寺）で修行し、令和2年より住職となる。日頃の法務（葬儀、法事）以外に、「お寺」で坐禅指導や音楽コンサート、様々な業界・業種とコラボレーション企画を催したり、お寺と人と心の結びつきに尽力する。合掌犬コナン（お祈りするチワワ）の飼い主としても有名。



した。

3年生になり卒業後お寺を継ぐことも考えましたがお寺以外の事にもチャレンジしたいと思い東京に進学しました。

大学時代の生活は高校時代の仲間がいつも周りにいて楽しく過ごせた事に感謝しています。大学卒業後は少し社会経験を積みたいと思い、東京でIT系の会社で働かせて頂きました。

社会人として3年ほどたった頃、両親の体調不良がきっかけで沖縄に戻ることを決め、そのあと修行期間を経て首里観音堂の住職として勤めております。

法事や行事などで首里高校の先輩方にお会いする機会も多くその度に首里高校の卒業生でよかったと思います。いろんなご縁に常日頃支えられていると感じます。

卒業する皆さんに伝えたいことは、誰でも必ず失敗することがあります。私もたくさん失敗し、その度に友人や先輩の言葉に支えられました。皆さんは失敗しても大丈夫何度でもやり直せる、常に前向きに過ごして欲しいです。

私が心にとめている「恩返し」という言葉があります。

高校時代ともに過ごした友人・育ててくれた両親、お寺、そして首里という地域に恩返しをしたいと常に思っています。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

首里観音堂はご存じでしょうか。首里高校から徒歩10分ほどにあり正式の寺号は「慈眼院」（じげんいん）通称、首里観音堂と呼ばれています。県内各地より家内安全、交通安全、旅行安全、健康祈願で参拝する沖繩随一の観音信仰の聖地となっています。

私はその住職をさせていただいております。今回いろんなご縁があり、卒業生

の皆さんにエールの言葉を送らせていただきます。

私は首里高校の50期生になります。入学したきっかけは家が高校の近くにあり、登下校する先輩方にあこがれていました。

又お寺の方に合格祈願や参拝、年末は巫女のバイトで首里高との関りがあり、自然と導かれて入学いたしました。

学生時代は弓道部に所属しており養秀会館にもよく足を運び部活動でも楽しい学生生活を送っています。

もちろん後輩の皆さんにも恩返しをしたいと思っております。

卒業して初詣や家族が増えての行事など気軽に首里観音堂へお参りに来てください。

そしてこれからも友人、先生方とのご縁を大切に首里高生としての誇りをもって進んで欲しいと思います。



▲臨濟宗妙心寺派 慈眼院・首里観音堂



▲合掌犬コナン（お祈りするチワワ）

與儀毅(21期)同窓会会長に聞きました!

『養秀同窓会って どんなところ?』

縁あって首里高校で三年間を過ごされた皆さん、ご卒業おめでとうございます!

そして、養秀同窓会へようこそ! 今回は與儀同窓会長と生徒会の皆さんで同窓会についてぎつくばらんに座談会を開いてみました。



▲座談会の様子



(一社)養秀同窓会
会長與儀毅
(首里高21期)

【略歴】一九七〇年琉球大学卒。沖縄国際海洋博覧協会、県リゾート開発公社を経て、二〇〇〇年沖縄サミット会場「万国津梁館」初代館長、元沖縄コンベンションセンター館長。元沖縄県調停協会連合会副会長。養秀同窓会では、事務局長、副会長を経て、令和四年、会長に就任。

司会: 同窓会と言えば、一中健児之塔や学徒隊資料展示室ですが、感じるところがあれば教えてください。

(與儀) 慰霊祭がコロナで中止になっていたが、今年度改めて開催するところができて感慨深かったです。

(生徒) 首里城や玉陵を回ったついでに資料展示室なども見学できるよ、観光コースの一つとして根付かせることができれば良いと思います。

【年会費について教えてください】

(與儀) ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城敷地や首里高グラウンドの土地は養秀同窓会の所有でホテルや県と賃貸契約を結んでいます。同窓会の収入の柱になっていますが、2万人弱連絡が取れる会員がいる中で会費の収入は思わしくないのが実状です。

『年会費いくらだと思えますか?』
一、〇〇〇円なんです!』

(生徒) 『えー! 安い!』

(與儀) 実際には銀行に振り込みに行くには時間がかかるため、そのハードルをいかに下げていくかが目標です。

今後はQRコードなどを載せスマホから簡単に支払いできるような仕組みを検討中です。

一、〇〇〇円を払うことで母校を意識し、後輩のために何かするということ動機づけになってくれればと思つて

います。

【奨学金や学校支援などで学生を支えています】

(生徒) 他の奨学金と比較して手厚いと感じました。進路指導補助や部活動補助などたくさんさんの支援をしてもらっていると聞いています。

【在校生から同窓会へ意見があれば...】

(生徒) 大学は関東に行く予定のため、沖縄とのつながりを持ち続けたいと思つています。

私たち若い世代はいつも『自分たちには何ができるのか?』を考えていますが、スマホ・ネット環境など何でも揃っているからこそ情報が多すぎて探しづらいと感じています。

学校の先生方だけでなく様々な経験をした社会人からアドバイスを頂くことで自分の方向性が定まっていくなきつけになれば良いかなと思つています。

まずは友達を誘って支部会に参加してみたいです。

【同窓会から在校生へ】

(與儀) 昔から首里高生は地域と密接に関わってきた歴史があります。

首里文化祭以前の祭りでは、おそらく首里高校の生徒が初めて琉球王朝の仮装行列を行ったのではないかと思います。甲子園で初勝利した時にはちょうちん行列などで地域を盛り

り上げたものです。

近年も染織科の生徒が作品を地域のバザーで販売したり、首里城が焼失した二日後には首里高卒の大学生が国際通りで募金活動を始めたり、若い世代は行動力があるので在学期間から常に意識をもつて行動してもらえる嬉しいです。5年、10年、30年後に自身の経験を首里、ひいては沖縄のために還元してください。



※集合写真(左から)新里香乃さん(現副会長)、田中煌洋さん(前会長)、與儀毅さん(同窓会会長)、金城弘明さん(現会長)、照屋功さん(現副会長)

【広報部として関わって(司会50期知念)】

私自身も在学中は感じませんでした。同窓会と関わりを持つようになって歴史ある高校に通っていたのだと実感するようになりました。

広報部の活動を通して新しい発見をさせてもらっています。これからも同窓会の活動を発信していきたいと思つています。

一般社団法人養秀同窓会の活動

代議員総会・交流会

年に一度、5月に「ダブルツリー by ヒルトン那覇首里城（旧：グランドキャッスル）」で行います。総会の前には、首里高校吹奏楽部による演奏もあります。



一中健児之塔 慰霊祭

毎年6月23日（慰霊の日）に一中健児之塔慰霊祭を挙げています。戦争で、犠牲になった307名の健児と職員の御霊を慰霊し恒久平和を願います。



養秀育英奨学金の運営と人材育成

創立130周年を記念して創設された「養秀育英奨学金制度」に、さらに「入学支度金制度」「海外留学補助金制度」「在校生支援奨学金制度」を加え充実した内容で人材育成に努めています。※卒業生にも受けられる制度があります。詳しくは同窓会事務局まで。

一中学徒隊資料展示室

沖縄戦の悲惨さを後世に伝え、恒久平和の道しるべにしたいと考え、犠牲になった一中学徒の遺書や遺影が展示されています。6月には、新一年生に対して平和学習を行っています。



在校生への支援

学校支援費として毎年380万円の予算を組み首里高校に支援をしています。

- 内訳 ●進路指導補助費 180万円
●部活動補助費 150万円
●首里高校・那覇高校スポーツ交流費 20万円
●学校環境整備費 30万円



養秀文庫

同窓会館の一階に養秀文庫を設けています。沖縄学の父、伊波普猷氏をはじめ、東恩納寛惇氏や同窓会員の著書、国学、一中、首里高校に関する資料なども所蔵しています。



会館の利用

同窓生をはじめ、在校生の弓道部・カルタ部・卓球部などが使っています。



養秀セミナー

同窓会員を講師に迎えてセミナーを開催しています。（年3回開催）



サークル活動

体育系・文科系・社会活動など、各種サークルが活動しています。



養秀同窓会の一年（概要）

- 4月 ●首里高入学式参列
●「震天動地」発行（新入生）
- 5月 ●「海邦養秀」発行（全会員・在校生）
●代議員総会・交流会
- 6月 ●一中健児之塔慰霊祭
●首里高新1年生へ平和学習
- 9月 ●養秀ゴルフ大会
- 3月 ●首里高卒業式参列
●「震天動地」発行（卒業生）

全国の養秀同窓会

県外へ進学・移住される方は各支部にぜひご連絡ください！

東京支部

部長：大城 洋子(21期)
☎080-5096-9233

センパイが
歓迎します！

関西支部

部長：鎮西 忠信(15期)
☎078-708-7236

福岡支部

部長：安室 米蔵(16期)
☎090-8352-2508

熊本支部

部長：我那覇 生純(39期)
☎090-3010-9803

鹿児島支部

部長：宇根 文穂(23期)
☎099-254-3096

